舞これからの農業

これからの農業に対して意見がありましたらお書きください。

アンケート調査の回答者二千六百六十五人のうち二百六十一人が記入しておりました。

主な意見をここにご紹介してみましょう。

◇長期の展望の上に立って、確実な農政を熱望します。また、地域の特殊性を考慮に入れ、全国一律の施策はさけてもらいたい。

◇農産物の流通機構の合理化と価格安定策を最重点に、為政者の思い切った施策と予算付けを望む。

◇好きと好まざるとにかかわらず、世界経済状勢に支配されることにかんがみ、経営規模の拡大をするよう強く要求します。

◇農産物に対しては、すべて生産費を補償し、食糧の国内自給政策を実施する。

農産物の価格安定策望む
低利資金で経営規模の拡大も

はかり、合理的な企業経営がなされるような施策と農業者官職の高揚を希望する。

◇土地改良費の全額国庫負担を望む。

◇当市における特産物は米であり、この米は年一回の回転であるため保護政策が必要である。

◇将来、経営規模の拡大を望んでも、現在の農家経済では、土地を売る人があっても資金がともなわない。このため、これら購入資金の枠の拡大と長期低利な資金を望む。

◇経営規模の拡大を望むものであり、それには大幅な融資をしてもらいたい。その方法は、一率でなく、経営規模別にそれぞれ区分することを望む。

◇減反、買い入れ制限、低米価と悪条件が重なる中で、各農家とも兼業化に走り、機械化をしたいけれども金がない。こんな状態で生産意欲の向上は望めない。しかし、農業の生きて行こうとするものは、農業に対するきびしい状勢の中でも、農民自身が決定的に対処する姿勢を強力にやしわねばならない。そのためには、組織の力と大切であるので、農協のありかたについては、このへんで再検討すべき時と考える。

整備されていく農道（大開地内で）

問六　今後十年くらいの間に、経営耕地面積をふやしたいと思いますか。

将来、増反したいという農家は萩川、小合地区に多く、それぞれ四六%、三九%を占めています。金津地区では一八%と低く、各地区の特性がみられました。

このふやしたいという農家は「農業だけで将来も生活したい」が一番多く七一%を占め、増反希望面積もそれぞれ経営規模別により違いがありますが、五～百アール増やしたいと答えた人が全体の三九%と最高でした。

また、その方法としては、購入が五一%ありましたが借地、請負も四〇%と高い比率でした。いっぽう減らしたいという理由としては「もうけが少ない」「農業以外の兼業に力を入れたい」「農業をやめる」が全体の九二%を占め、そのうちの「兼業に力を入れるため減反する」がとくに多くありました。

なお、二百五十アール以上の農家の増反したい比率をみますと八〇%が経営耕地の増加を希望し、それ以下の農家は、経営耕地が少なくなるにつれ現状維持か減反を希望しています。

問七　経営または作業を協業、請負、共同作業でやっていますか。

萩川地区を除き、各地区とも「協業、請負、共同作業をやっている」という比率は二五%前後と低くなっています。これは、萩川地区が三一八年度から始まった農業構造改善事業で、共同化の促進をはかったためですが協業、請負、共同作業を実施している作目は水稲が主で九八%を占め、経営も含めたいわゆる協業経営は少なく、作業の共同が全体の八九%を占めています。

しかし、「今後も続けますか」との問いには「わからない」が二六%もあり、今までの共同作業組織の構成と運営に対して問題があるものと思われます。

問八　今後十年くらいの間に、土地改良をやりたいと思いますか。

「土地改良は必要であるか」「必要でないか」という比率は、各地区とも若干の違いはありますがそれぞれ三六%、五二%が前後とだいたい同じになっています。

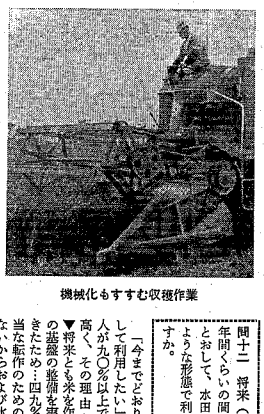
しかし、東部地区である新津地区の大部分と新関地区（十アール区画、他の地区は二アール区画）では、「土地改良は必要でない」と答えた人が五二%を占めていることから、今後の土地改良を進める上で問題があるものと思われます。

やりたい土地改良としては、用排水、ほ場整備、農道の新設、改良、舗装の順で、このまま土地改良をしなくてもよいという理由では、「すでに実施されている」が全体の九四%を占めていました。

問九　今後十年くらいの間に、農業の近代化のための機械や施設についてどのように考えていますか。

「機械化を望む」については、金津地区では三四%と低く、他の地区はいずれも五〇%前後の比率をなしています。

また、「どのような機械や施設を導入したいと思いますか」との問いには▽コンバイン二一%▽トラクター二一%▽中小型農機具一八%▽ライスセンター一一%▽刈取脱穀施設八%▽わからない四%となっています。細部的には「共同で機械化を望む」が全体の七二%を占め、機械化も大型を望んでいます。



機械化もすすむ収穫作業

問十　国や県、市に農業を盛んにするための諸施策をやってほしいと思いますか。

「農業に対する施策を積極的にやってほしいは、金津地区（五八%）を除き各地区ともC0%前後を占めています。

とくに二百アール以上を耕作している農家の方に対して、農業の安定を希望しています。

問十一　部落内でぜひやりたいものは何ですか。（三つを選ぶ）

部落内で一番やってもらいたいものは、道路の整備で全体の八三%を占めて圧倒的に多く、以下工場の誘致、集出荷場の順です。

二番目に希望していたのは、工場の誘致で三三%を占め、以下集出荷場の建設、住宅団地の誘致、公民館の建設の順です。

三番目に希望していたのは、住宅団地の二五%が一番多くなっています。

問十二　将来（今後十年間くらいの間）を見とおして、水田をどのような形態で利用しますか。

「今までどおり水田として利用したい」という人が九〇%以上で比率が高く、その理由として▼将来とも米を作るための基盤の整備を実施してきたため：四九%▼適当な転作のための作目がないからおよび水稲が有利であるから：二二%▼休耕すると周囲の水田に迷惑をかけるから：四%▼転作するために経費がかかるから：三%となっています。

ただ、小合地区においては、水稲以外の作目を栽培したいという希望が一〇%を占めて、その作目は花卉、球根が多くみられます。

問十三　農業の将来性について、どのように思いますか。

将来性があると答えた人は、全体的には一〇%ですが、「やりかたによっては将来性がある」としたがってその要望も減少しています。その内容としては、農産物価格の安定を希望している農家が多く、全体の五五%を占め、以下道路の整備、土地改良の順となっています。

将来性があると答えた人は、全体的には一〇%ですが、「やりかたによっては将来性がある」と

別表(四)

項目 / 地区	やっている	やっていない
市全体	29%	71%
新津地区	28	72
萩川地区	51	49
小合地区	24	76
金津地区	22	78
新関地区	21	79

別表(四)

項目 / 地区	やりたい	このままでよい	わからない
市全体	36%	52%	12%
新津地区	36	50	14
萩川地区	37	53	10
小合地区	36	53	11
金津地区	32	54	14
新関地区	37	54	9

別表(六)

項目 / 地区	機械化を望む	現状のままでよい	わからない
市全体	48%	36%	16%
新津地区	47	36	17
萩川地区	56	32	12
小合地区	53	34	13
金津地区	35	42	23
新関地区	48	36	16

別表(七)

項目 / 地区	増反のにやってはいた	現状のままでよい	やらなくてもよい	わからない
市全体	70%	13%	4%	13%
新津地区	69	12	4	15
萩川地区	75	13	2	10
小合地区	75	13	2	10
金津地区	58	17	9	16
新関地区	70	13	4	13

別表(八)

項目 / 地区	将来性大きいに	将来性ある	やり方によっては将来性がある	将来性がない	わからない
市全体	10%		59%	12%	19%
新津地区	11		54	15	20
萩川地区	9		70	8	13
小合地区	14		60	9	17
金津地区	6		52	18	24
新関地区	4		68	9	19

答えた農家は五九%と高く、これからの農業を盛んにするには、経営者の創意工夫が必要である：と理解していることがうかがわれます。

内科・小児科・レントゲン科
入院応需
大坂医院
グランド劇場
金沢町
大橋
森川医院
旧大坂医院
小出耳鼻科
大坂医院
新津市新町1丁目6－12
・TEL(2)1731

胃腸・皮膚・肛門(ぢ)
泌尿器・レントゲン科
山田外科医院
山田外科医院（工事中）
大坂医院
←金沢町
森川医院
小出医院
大橋→
山田外科医院
（旧大坂医院のあと）
改築工事のため2月28日から左記にて診療しています

IC ブライトロン18
（ブラウン管の後に）ご注目下さい。
部屋を選ばない気品あるデザイン
18D2T
標準価格
149,000円
東芝ニュークレジットなら
20回までOKです。
東芝ストアー
㈱八重電商事
本町2 TEL 2-3131